

中野区連携教育通信 第1号

令和3年11月10日
中野区教育委員会事務局指導室
連携教育担当

中野区は、幼児期から小学校・中学校までの15年間を見通した保幼小中連携教育を重点施策として取り組んでいます。

中野区連携教育通信を通して、保幼小連携教育のねらいや各中学校区での取組を紹介し、保幼小中連携教育を推進していきます。



一人ひとりの可能性を伸ばし、 未来を切り拓く力を育む教育

保幼小中連携教育の目的

- 全ての子どもたちが安心して就学・進学し、個性を生かしながら成長できることを目指します！
- 15年間の連続した学びのカリキュラムにより、子どもたち一人ひとりが確実に「生きる力」を身に付けることを目指します！

地域を核とした連携

合同行事

各中学校区で、小学校と中学校の合同作品展や保育園・幼稚園と小学校の交流会等が行われています。

オープン キャンパス

小学6年生が、年3回中学校に行き、授業や部活動の見学を行います。

乗り入れ 指導

小学校には中学校の教員が、中学校には小学校の教員が出向いて指導し、学習意欲の向上を目指します。

スタート カリキュラム

小学校入学時の4月から5月まで、生活科を中心として、保育園や幼稚園での学びを取り入れた指導を行います。

連携研究

学力向上・体力向上・心の教育・特別支援教育の4つの視点で、今後の中学校区のカリキュラム連携を推進しています。

カリキュラム連携

教職員連携

保幼小 連絡協議会

4つの小学校を会場にして、共通のテーマに基づいた話し合いや情報交換を行います。

小中連携 教育協議会

連携校の小学校と中学校の教員が年2回情報交換を行ったり、共通の課題を話し合ったりしています。

保幼小中 連携教育研修

年2回各中学校区での取組の充実を目指し、情報交換や協議を行います。

**保幼小中連携教育
の取組**
中野区では、15年間の学びの連続性を見通した教育の充実に取り組んでいます。



連携教育の取組

各中学校区で行われている様々な取組取材し、今後も紹介していきます。

オープンキャンパス

小学6年生が年に3回中学校に行き、授業や部活動の見学、体験を行います。小学6年生は、安心して中学校に進学することができます。



中学校にはどんな教室があるのか、校舎内を見学しました。



中学校の教室で、中学校の先生の授業を受けました。



中学校の校長先生に挨拶をして学校に戻りました。



保幼小連絡協議会



小学校の先生が、1年生の授業や生活の様子を写真や動画を使って紹介しました。

毎年6月に保育園、幼稚園と小学校の教員が連携を図るために実施しています。4つの小学校を会場とし、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」をテーマに、話し合いました。



小学校の校長先生や幼稚園、保育園の園長先生が、各小学校や幼稚園での取組について発表しました。



保育園、幼稚園、小学校の先生がグループになり、話し合いました。